



QCCダイジェストin福井

2026年度
QCサークル秋季研修会

号

開催日：2026年10月9日（金）
発行元：QCサークル北陸支部福井地区事務局



秋季QCサークル研修会開催

2026年度QCサークル秋季研修会が、10月9日（金）福井市きらら館にて開催されました。今年度は、福井地区の企業12社 57名の方が受講いただきました。はじめに、福井地区・鍋谷地区長代理より「QCサークル活動は、自主的な改善を通じて人を育て、職場力と顧客満足度を高める活動です。原点に立ち返り、研修で得た学びを職場で実践し、新たな気付きと行動変革につなげることを期待します。」と挨拶を述べました。その後、総合司会より当日の注意事項などが伝えられ、各コース会場に分かれての研修が始まりました。



鍋谷地区長代理
フクビ化学工業(株)



開会挨拶：受講者の皆さん

開催コースについて

【問題解決型QCストーリー中級コース】
ジグソーパズルを使いQC的問題解決手順に沿って特性要因図の重要要因から検証を行い、真因に関して系統図を作成し対策の効果確認を行う実践型研修

【リーダー役割認識コース】
グループディスカッションを体験しながら、役割分担、時間厳守、意見吸収など、リーダーのあるべき姿、役割を認識する研修

【QCサークル推進者育成コース】
発表事例を用いて活動の良い点、改善点をグループディスカッションでまとめ、審査、講評のポイントを学ぶ

講師



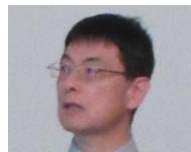
畑中副幹事長
清川メッキ工業(株)

講評



勘山副世話人
(株)アイシン福井

研修の様子



小川副世話人
セーレン(株)



杉原一般幹事代表
(株)福井村田製作所



田辺副世話人
元フクビ化学工業(株)



今回ご参加頂いた企業（順不同）



株式会社アイシン福井	東洋染工株式会社
株式会社アイシン福井・サービス	株式会社TOP
揚原織物工業株式会社	日華化学株式会社
清川メッキ工業株式会社	日本ゼオン株式会社 敦賀工場
倉茂電工株式会社	株式会社日本ピーエス敦賀MC
信越化学工業株式会社武生工場	株式会社福井村田製作所

QCサークル北陸支部では、行事のレベルアップのため幹事の地区間交流を行っております。今回の福井地区秋季研修会には、富山地区の幹事2名が、今後の行事の参考として研修会を見学にこられました。



問題解決型QCストーリー中級コース



またの皆さまのご参加を
お待ちしております！

中級コースでは、QC 7つ道具の中でも特に特性要因図と系統図の作成手順について講義で学び、ジグソーパズルを使いながら、問題解決型のQCストーリーに沿ってQCサークル活動を実践していきました。

このコースには、実際に自社のQCサークルの第一線で活動している方など、38名の方に受講していただきました。

講義後は6グループに分かれ、制限時間15分で1回目のパズル作成を行い、完成したピースの数を数え、目標値の設定をしました。パズルをもっと早く完成させるために、グループごとにうまくいかなかった要因を整理して、真の要因を探し出すべく検証を行い、系統図を活用しながら改善策を深掘りして対策案を検討しました。その後、これらの対策案に基づき対策を実施し、2回目のパズルの作成を行いました。

各グループとも話し合っただけで決めた対策に効果があり、2回目は時間内に完成するグループもあり、大いに盛り上がり達成感を味わいました。

参加者からの声

ジグソーパズルを使用した研修がストーリーとしてとてもわかりやすかったです。(揚原織物工業K様)
QCについて詳しく知れた。特に発言することの重要性がよく分かった。(日本ゼオンM様)

リーダー役割認識コース

リーダー役割認識コースでは、講義とグループ討議を通じてリーダーの役割と心構えを学び、演習で実践しました。

このコースは12名の方に受講いただきました。その中の10名の方がQCサークルリーダー経験者でした。

講義後、3グループに分かれ、「QCサークル活動の目的から考えた私たちの課題」テーマとして、「個人能力の向上」「チームワークをよくする」について、「現実」「問題点」「理想」の視点で討議し、リーダーのあるべき姿について具体的な行動を考えていただきました。

研修の最後に、各グループには、リーダーのあるべき姿3か条と個人の決意表明を発表いただきました。

参加者からの声

リーダーとしてのあるべき姿を話し合い、今自分に何が足りていないのか見つめ直すいい機会になりました。(揚原織物工業T様)
講師の方が丁寧にアドバイスしてくれた。研修中の雰囲気も堅苦しくなくリラックスして受講できた。(アイシン福井S様)

QCサークル推進者育成コース

推進者育成コースでは、改善の発表事例を用いて、事例や活動の良い点や改善点を見出しながら、講義とグループ討議で、指導する時や、審査や講評する際の着目ポイントを学びました。このコースは、実際にQCサークルのリーダーや指導に当たっているかたも含めて、7名の方に受講いただきました。

事例を用いて、「目標の設定」「要因解析」「対策の検討と実施」などQCストーリーごとに、採点をしたり、参加者がお互いに気づいた点を活発に話し合いました。

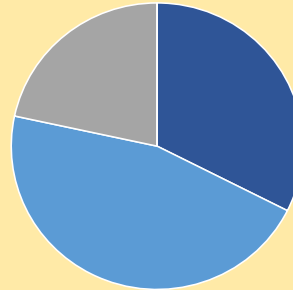
研修の最後には、事例や改善への指導ポイントを発表し、「講評」も体験しました。発表内容は要点が押さえられ、参加者の理解の高さがうかがえました。また、推進者としての視点や役割についても理解を深める貴重な機会となりました。

参加者からの声

職場ではリーダーとして活動している中、推進者という別の目線で研修を受講出来て見識が向上しました。また自職場の活動でも展開し活動の活性化に繋がりたいと思います。(日華化学Y様)
推進者の役割自体が良くわかっていないながらの参加でしたが、非常に分かりやすくてためになりました。(アイシン福井M様)

アンケート結果

理解度 (n=37)

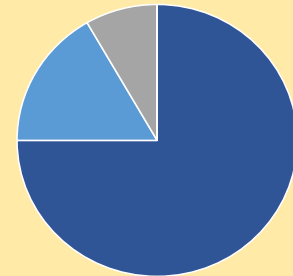


凡例	
5点	(理解できた)
4点	
3点	(まあまあ)
2点	
1点	(理解できなかった)

平均 4.11 / 5.00

アンケート結果

理解度 (n=12)

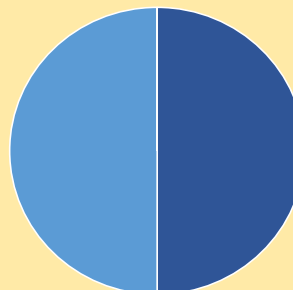


凡例	
5点	(理解できた)
4点	
3点	(まあまあ)
2点	
1点	(理解できなかった)

平均 4.67 / 5.00

アンケート結果

理解度 (n=6)



凡例	
5点	(理解できた)
4点	
3点	(まあまあ)
2点	
1点	(理解できなかった)

平均 4.50 / 5.00